

# ぶらりらいぶらりい

～図書室にはこんな本があります～

## No. 17

今回は、映画についての質問をもとに当室の資料をご紹介します。

**問** 昭和14年2月に『望郷』という映画が上映されたが、その映画が上映された映画館を知りたい。

**答** 検索システムの[全ての資料]検索で、“望郷”という言葉で検索してみる。ヒット件数は、248件！とりあえず、ヒット資料の一覧をざっと見ると、映画雑誌で昭和14年のものがある。「キネマ旬報 1931年3月1日＝第673号」と「週刊朝日 昭和14年2月19日＝第35巻第9号」。どちらも、『望郷』の映画批評であるが、「キネマ旬報」には、上映館も記載されていた。また、「キネマ旬報」には、“映画館景況調査”というのがあり、ここに各映画館で上映されていた映画も記載されていた。昭和14年2月21日号に『望郷』の上映館の記載あり。

また、この時期の新聞にも映画館等の広告があるのでは、ということで探してみる。「映画年鑑 昭和15年版」によると、『望郷』の封切は2月8日とあるので、その近辺の新聞縮刷版を見てみる。「東京朝日新聞縮刷版」昭和14年2月9日付に大きな広告あり。上映館等も載っている。

この質問の場合には、上映時期が分かっていたが、分からない場合は、邦画であれば、「日本映画史」や「キネマ旬報 昭和38年増刊－日本映画戦後18年総目録」（昭和20年8月15日～昭和38年8月14日の作品）等で調べることができる。他に、「キネマ旬報別冊－日本映画作品大鑑」もあるが、現在当室では所蔵していないので、悪しからず。

図書室には、書棚に並んでいる図書以外にもたくさんあります。

検索端末を使って、読みたい本を探してみてください。

操作方法等がわからない場合は、カウンター職員までお気軽に…。

・・・もう一冊！！！！・・・ ⑮

もう一冊を探して、検索キーを入れてみます。  
今回は年鑑を見てみましょう。

検索キーに「年鑑」を入れて「調べる」を触ります。  
あらあら、670件も出てきます。これは、朝日年鑑や、毎日年鑑が昭和の初めからずっと揃っているからですが、他にも映画年鑑、NHK年鑑などの特殊な分野の年鑑が案外に多いことが分かります。

年鑑と言うものは、特定のテーマの或る時期に於ける「横切りの」データであり、同じく特定のテーマを「時間の流れに沿って縦にデータ化」した統計などといっしょに見ると、一つのテーマごとの流れが把握できるので、眺めているだけで興味が尽きません。

原則的に、これらの資料は一般に販売されるのですが、今回は秘密資料として出版された年鑑を紹介します。それは、「科学技術年鑑・昭和17年版」で、財団法人科学動員協会が昭和17年6月1日に発行しています。A5版で1100ページを超える大きな本です。当時は一般出版物は用紙の配給の関係から、出版部数が奥付けに明記されているのですが、この年鑑は「限定版」とあって、ナンバリングで数字が入っているだけで発行部数は分かりません。番号が1269なので、恐らく2000部くらいの発行でしょう。

内容は東條英機（総理大臣兼科学動員協会の会長です）の序文で始まり、当時の科学技術の現状と関係機関の一覧等があります。戦時下の技術状況を知る上で、面白い資料と思います。それにしても、

- 1・本書の取り扱い及び保管に就いては防諜上嚴重に注意すること
- 1・特定の場所以外に濫りに持ち出さざること
- 1・不要の際は確実に焼却すること

という、注意書きには、時代を感じさせるものがあります。

さ、次回はどんな「もう一冊」が好いか、探しましょう。（午睡）

— — — — —  
— 図書室から —

例年より1ヵ月も早く、木枯らしが吹いたとか…。紅葉の彩りも今年の暑さでいつになく冴えているとのこと。季節は確かに冬へとむかっています。

\* 図書室所蔵資料の検索がインターネット上で可能になりました。

昭和館ホームページ (<http://www.showakan.go.jp>) で図書室所蔵資料の検索機能が追加されました。ご活用ください。

ぶらりらいぶらりい ～図書室にはこんな本があります～ No. 17 2000年10月24日 発行 編集・発行 昭和館 図書室 〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1
---